

中小企業景況調査(2014年4月) 要約版

[概況] 中小企業の売上げDI、売上げ見通しDIは、ともに低下

1 売上げ

2014年4月の売上げDIは、前月(11.9)から低下し、11.3となった。低下は3カ月ぶりである。

今後3カ月(4月～6月)の売上げ見通しDIは 13.0と、前月(2.9)から低下した。低下は4カ月連続で、15カ月ぶりにマイナスに転じた。

2 利益

利益額DIは、3.5と、前月(13.3)から低下し、9カ月ぶりにマイナス水準となった。

3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、0.5と、前月(5.1)から低下した。低下は2カ月連続であり、6カ月ぶりにマイナス水準となった。仕入価格DIは、26.7(前月:24.1)と、2カ月ぶりに上昇した。

従業員判断DIは、3.9と、前月(8.3)から低下したものの、5カ月連続でプラス水準となっている。生産設備判断DIは、6.3(前月: 3.7)と、7カ月ぶりに低下したものの、3カ月連続で一桁のマイナスにとどまっている。

調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

< 調査の要領 >

調査時点	2014年4月中旬
調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏456社、中京圏140社、近畿圏304社)
有効回答企業数	607社
回答率	67.4%

< お問い合わせ先 >

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1704(担当:江連、神谷)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

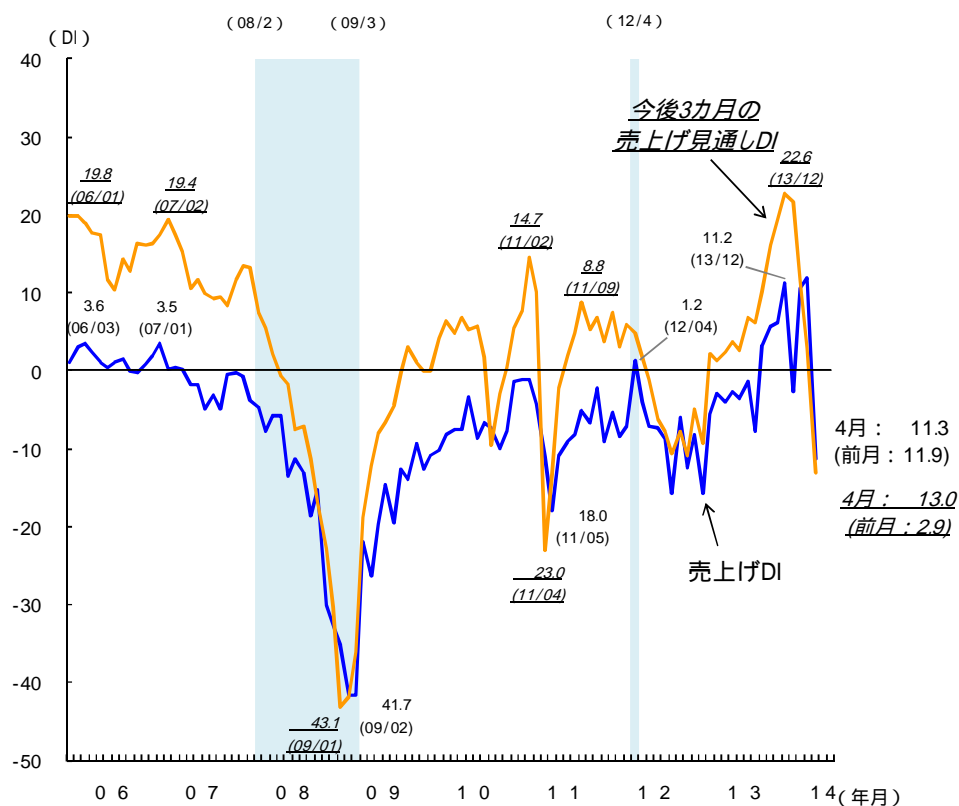
売上げDI(「増加」 - 「減少」)は、 11.3と、前月から23.2ポイント低下した。低下は3カ月ぶりである。

売上げ見通しDI(「増加」 - 「減少」)は、 13.0と、前月から15.9ポイント低下した。低下は4カ月連続である。

利益額DI(「増加」 - 「減少」)は、 3.5と、前月から16.8ポイント低下した。マイナスとなるのは9カ月ぶりである。

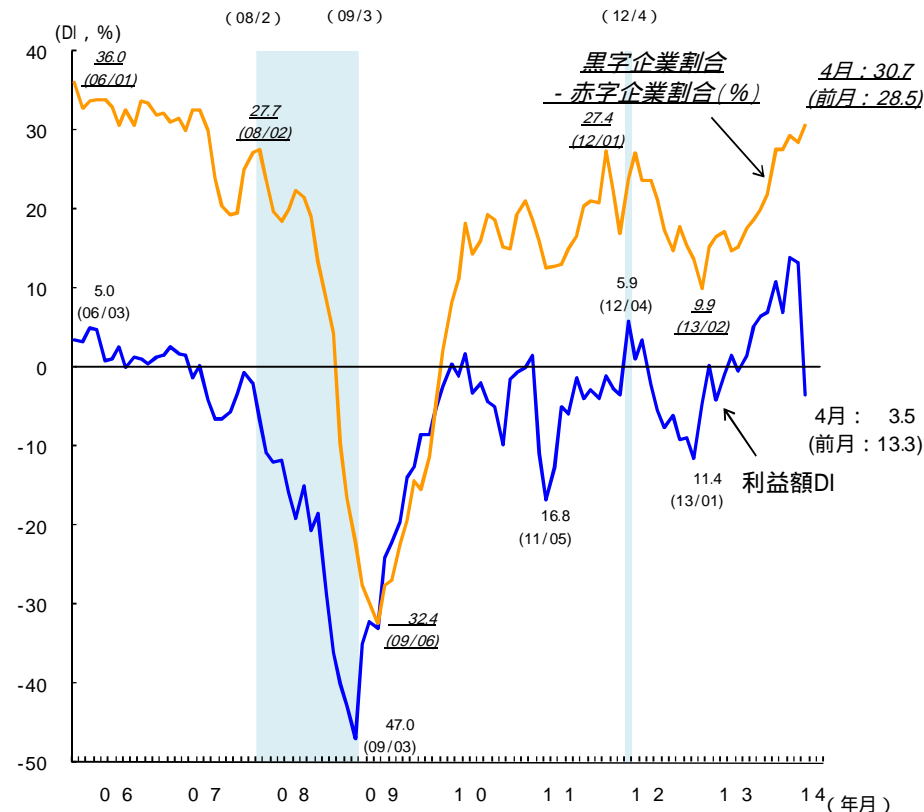
黒字 - 赤字企業割合は、30.7と、前月から2.2ポイント上昇した。

図 - 1 売上げ及び売上げ見通しの動向



- (注) 1 売上げDIは前月比で「増加」 - 「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 今後3カ月の売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」 - 「減少」企業割合(季節調整値)。
 3 シャドー部分は景気後退期を示す。ただし、2012年4月以降については、まだ景気の谷が設定されていないことからシャドーは付けていない(以下同じ)。

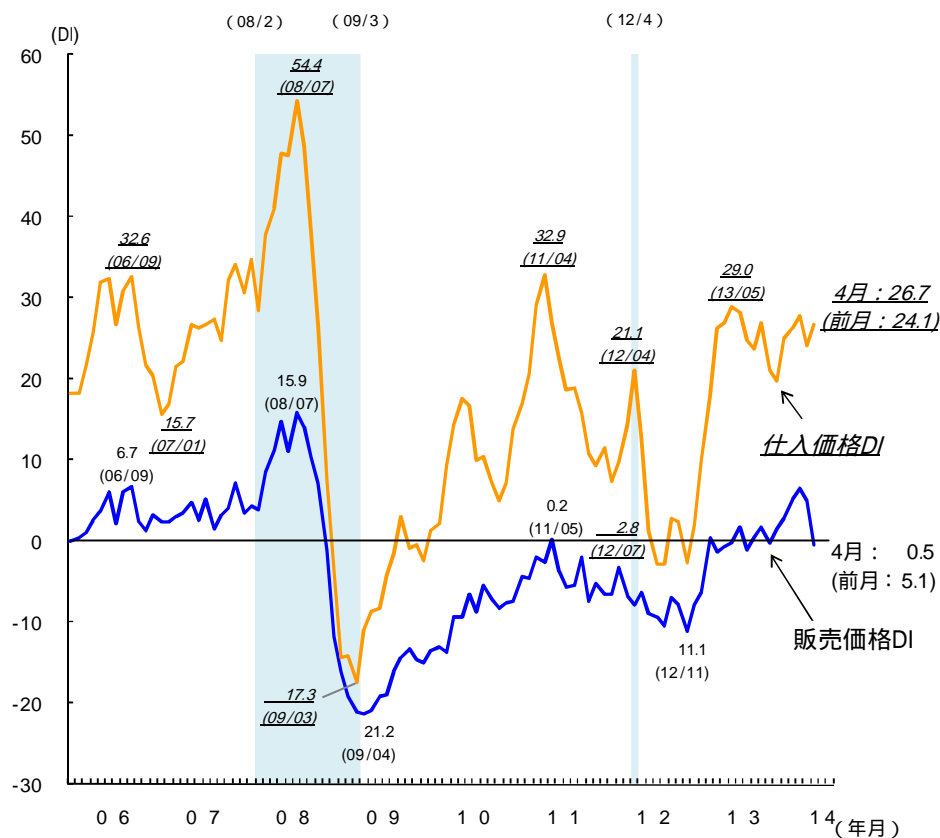
図 - 2 利益の動向



- (注) 1 利益額DIは前月比で「増加」 - 「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 黒字および赤字の判断については最近3カ月の実績による(季節調整値)。

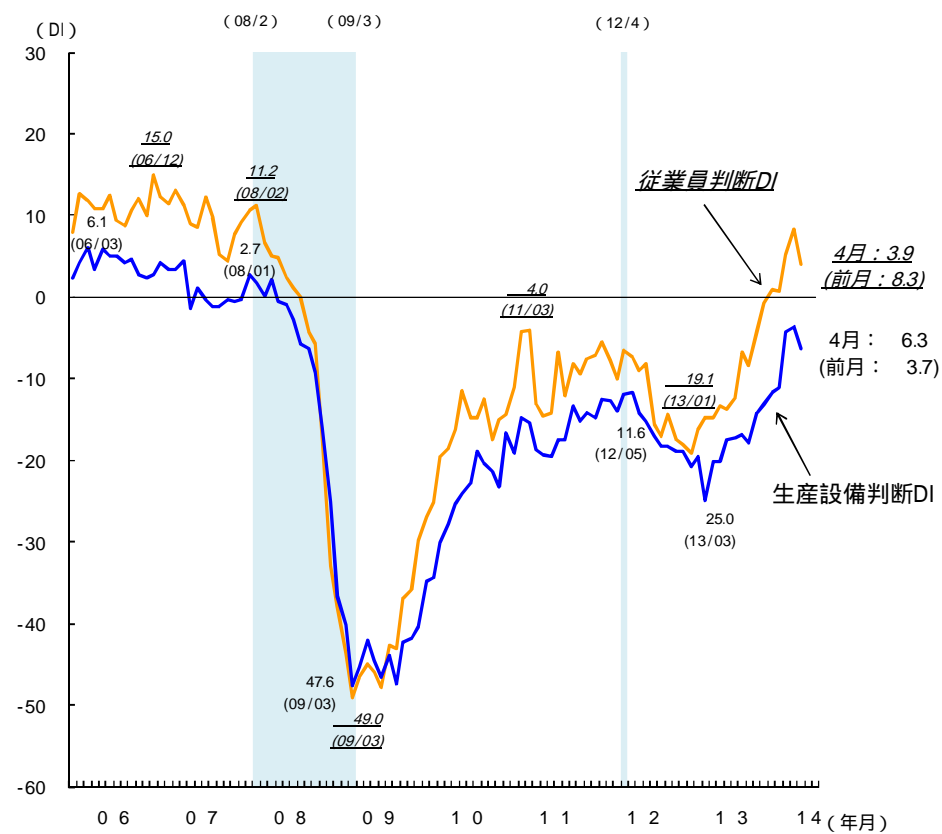
販売価格DI(「上昇」 - 「低下」)は、 0.5と、前月から5.6ポイント低下した。低下は2カ月連続である。
 仕入価格DI(「上昇」 - 「低下」)は、 26.7と、前月から2.6ポイント上昇した。このところ高い水準が続いている。
 従業員判断DI(「不足」 - 「過剰」)は、 3.9と、前月から4.4ポイント低下した。低下は3カ月ぶりである。
 生産設備判断DI(「不足」 - 「過剰」)は、 6.3と、前月から2.6ポイント低下した。低下は7カ月ぶりである。

図 - 3 販売価格、仕入価格の推移



(注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」 - 「低下」企業割合。
 2 仕入価格DIは前月比で「上昇」 - 「低下」企業割合。

図 - 4 従業員状況、生産設備の判断

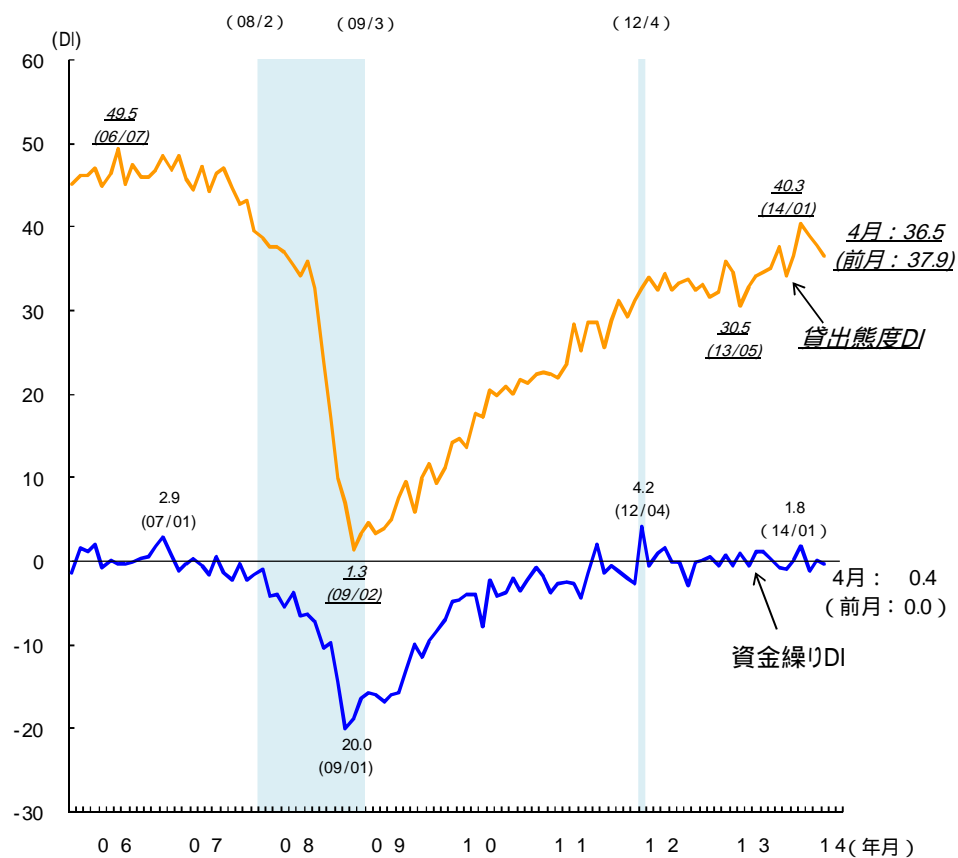


(注) 1 従業員判断DIは「不足」 - 「過剰」企業割合 (季節調整値)。
 2 生産設備判断DIは「不足」 - 「過剰」企業割合 (季節調整値)。

資金繰りDI(「余裕」 - 「窮屈」)は、 0.4と、前月から0.4ポイント低下した。

貸出態度DI(「緩和」 - 「厳しい」)は、 36.5と、前月から1.4ポイント低下した。

図 - 5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



- (注) 1 資金繰りDIは「余裕」 - 「窮屈」企業割合(季節調整値)。
2 貸出態度DIは「緩和」 - 「厳しい」企業割合。